

【様式 2】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立有田工業高等学校【定時制】

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日

令和 7 年 2 月 2 5 日 (火) 第 6 回学校運営協議会

(2) 資料 (評価の参考とした資料)

- ・学校運営協議会資料 (第 1 回～第 6 回)
定時制の紹介及び取組資料
- ・学校評価計画・中間評価・結果

(3) 評価者

学校運営協議会委員 (10 名)

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・各項目の取組目標も妥当であり、それぞれの分掌間や外部機関との連携が
できている。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・セラミック科とデザイン科の特徴を生かした「ものづくり」とおして、生
徒個々の特性に応じた対応ができており生徒の自信に繋がっている。

③改善方策の適切さ

- ・教職員の働き方改革として、資料の事前配布による会議時間の短縮は効果
がみられる。また、放課後時間が生徒指導や教科指導に有効に活用されており
業務の効率化ができている。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・少人数指導による個別の教科指導により、生徒の学習意欲の向上を図るこ
とができている。進路指導では、早めの履歴書指導や面接指導が、生徒の進路
意識の向上に繋がっている。また、これらの取り組みが、生徒自身が授業の大
切さを知り、出席率の向上に繋がっている。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・「生活チェック表」と「生徒連絡会」による生徒理解の取り組みと、スクー
ルカウンセラーや医療機関との連携によって、適切な生徒支援ができている。

③改善方策の適切さ

- ・生徒の成長に必要な知識と経験を伴う様々な行事が計画実践されている。
その内容も、生徒が興味を持ちやすいものとして工夫されている。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・都市部に比べてこの地域にはフリースクールが少ない。不登校の子供の保護者は不安
を抱えているので、定時制高校を進路選択の一つとして広く認知してほしいと思う。